

令和7年度 第3回君津地区公民館運営審議会 会議録

開催日時 令和7年12月22日（月）午後2時00分から午後4時10分まで

開催場所 君津市周西公民館 ホール

議題等 1 令和7年度事業進捗状況について～重点分野を中心に～
2 公民館の開館時間、休館日について

出席委員 田浦定一、増田久美子、伊藤亮、馬場ミヨ、水口純子、岩鼻方美(遅)、
山口幸代

欠席委員 高橋新司、古屋有佳、鈴木政一、渡邊綾美、高橋勝巳

出席職員 君津中央公民館 平野館長・矢島主任主事
八重原公民館 隅田館長・三枝副主査
周西公民館 笹本館長・中村副主査
周南公民館 飯泉館長・平島副主査
生涯学習文化課 野村課長・小林副主幹

同席者 高柳教育実習生(周西公民館)・阿佐美教育実習生(周南公民館)

公開または非公開の別 公開 ・ 非公開

傍聴者 0名（定員 6名）

1 開会（進行 八重原公民館 隅田館長）

2 委員長あいさつ

私は、公民館運営審議会の委員長の他にも、いわゆる充て職として受けている市の委員がありますが、その分野でも予算削減の影響を受けての議論が行われています。君津市では、千葉ロッテマリーンズの2軍本拠地移転や、旧大和田小学校校舎の大学への無償譲渡に関わる支出などの事情もあると思いますが、公民館についても、建て替えや予算増額が望めない現状にあります。しかし、君津市における社会教育施設は、例えば大

型の博物館が無いなど極めて乏しい状態だと思います。このような状況の中で、君津市の社会教育をきちんと機能させていくには公民館しかありません。お金がないから公民館をコミセンに変えていくという自治体がありますが、これは自殺行為だと思います。コミセンは主体的な社会教育活動が可能な機関ではありません。社会教育に関わる人は、踏ん張り時です。金がなければ汗をかくしかありません。職員、特に専門職のみなさんにとっては非常に苦しい時代だと思いますが、汗をかいて、ぜひ頑張ってくださいと思います。

3 周西公民館長あいさつ

4 報告 施設予約システムの変更について

事務局より説明

5 協議

(1) 令和7年度事業進捗状況について ～重点分野を中心に～

委員長

各館から第2回審議会以降の重点分野の取り組み状況について、君津中央公民館から、順に説明をお願いします。

—各公民館資料に基づき説明—

委員長

ありがとうございました。それでは各公民館からの説明について、何かご質問のある方はいますか。

(質問無し)

質問がないようですので、各委員から順にご意見ををお願いします。

委員

私は現在中学校の校長をしており、今日は校長会代表として参加しています。報告を聞き、多岐にわたる活動が地域を結ぶ役割を果たしていることに改めて感謝いたします。

報告のあった活動の話とは少しそれますが、公民館の役割として青少年健全育成のお話がありました。学校という立場から申しますと、公民館を核に青少年健全育成の動きがあり、地域の顔が見え、ありがたく思っています。一方で、公民館と学校のねじれが生じていることが校長会でも問題になっています。例えば、君津中学校校区は八重原公民館と君津中央公民館のエリアで「また裂き状態」になっています。また、教頭が担う

ことになる青少年健全育成の事務量は膨大なものになっています。しかし、エリアの課題があり公民館も動けないようで、君津中学校区の青少年健全育成は休止状態になっています。市内で一番子どもが多いエリアにもかかわらず、学校と地域をつなぐものがない状態です。

周西南中は君津中央公民館に本当に良く動いていただいているおかげで、コミュニティスクールが機能していますが、君津中学校はぽっかり穴が開いている状態です。もし私が校長だったら困ってしまうとか、一方で教頭の仕事も減らしたいとか、いろいろな思いがあります。

このあと公民館の休館等についても議題になりますが、アンケート等で単に市民の要望を聞くだけでなく、やるべきことのために休館・閉館するという整理が必要です。例えば、地域と学校をつなぐ役割を果たさなくてはいけないけれども、時間や予算が足りないので、休館日を設けて取り組むなどのように、もう一度、理解していただくための説明が必要ではないでしょうか。

公民館の活動に頭が下がりますし、学校は地域とつながって成り立たなければいけないという思いがありますので、意見をさせていただきました。

委員

それぞれの公民館で、自分たちの地区の課題を考え、取り組んでいる様子が伝わってきました。君津中央公民館の写真からは、目をキラキラさせて参加されている様子が伝わってきて熱く感じるところもありました。

八重原公民館には、「地域再発見講座」で17名の方が初参加とありましたが、どのように参加者を集めたのか、お聞きしたいです。

君津中央公民館には、予定より遅れている取組がいくつかあるとのことでしたが、その要因は何と考えていますでしょうか。また、君津中央公民館で企画されている引きこもりや不登校支援をテーマにした事業についても、周西公民館でもすでに実施されていることをLINEなどを通じて知りました。そのあたりも含めて教えてほしいです。

委員長

ご質問がありましたので、回答をお願いします。

八重原公民館 三枝副主査

「地域再発見講座」は、非常に参加者の反応が良いものでした。自治会回覧はもちろんですが、SNSの力も大きかったように思います。やはりニーズがあったと考えています。参加者からの声をお聞きすると、「歴史が好き」「長く住んでいたけど八重原のことを知らなかったなのでこのようなものを待っていた」という声がありました。60～70代のご夫婦や企業を退職された方という参加者層が多かったです。

君津中央公民館 平野館長

予定が遅れている事業については大変申し訳ございません。業務分担等のマネジメント不足がございました。引きこもりや不登校支援をテーマにした事業の周西公民館とのすみ分けという点については、周西公民館については当事者や直接の関係者を対象に、君津中央公民館ではそれを支援していく人を主な対象に事業を展開していくところでございます。

委員

支援する人たちとは、住民を指しているのでしょうか。また実施時期はどのぐらいを目指していますか。

君津中央公民館 平野館長

対象については、そのとおりです。また、周囲への理解を広げることにも取り組んでいきたいと考えています。時期については今年度中には必ず実施いたします。

委員

公民館運営審議会委員になって初めて知ることもありますが、これだけ公民館が頑張っているのに、一般の人がまだまだ知らないことが残念です。近所の人と話をしても、選挙と文化祭に行く程度でした。伝わらないことが残念です。ですが、公民館だよりも近所の人がかつただけで、自治会でも話題になります。そんな機会を通じて、これまで見過ごしてきた人にも伝われば、公民館がより見えてくるのではないかと考えました。

委員

とても素晴らしいと思っとうかがっていました。私は2か所で子ども食堂の手伝いをさせていただいています。周南地区は公民館と一体になって、和気あいあいと活気があって実施できています。一方で北子安は、開催の場所の関係など課題があるように感じています。

子ども食堂の観点からも、公民館は重要な役割を果たしているのだなと感じています。

委員

公民館運営審議会委員を受けるまでは、ただの利用者でした。その地域の特性にあわせた取組をしていることを知りませんでした。君津市は海から山まで広いですが、各地域の昔からの文化や遺跡、そして獣害などの課題などに取り組んでいることを勉強させていただきました。

普段は、主婦としてサークル活動をしています。周西公民館、君津中央公民館、図書館などを使っていますが、放課後の小学生、中学生、高校生が利用しているのを目にし

ます。涼しい、または暖かく、トイレがあり、ちょっと大人の目があって、安全な場所として使われていることはよいことだと思っていますので、公民館が広く市民に使われるようになってほしいと思います。

委員長

公民館の活動が住民にしっかりと伝わっていないとの意見がありましたが、これは大きな課題だと思います。私は地域の自治会連合会の会長であります。自治会長にどうやって公民館に関わってもらえるか、自治会長が理解し、自治会長が宣伝することも課題になるのではないかと考えました。

また、先ほど出されたご意見の中で、学区と公民館対象区域が一致しないことは理解できる場所ですが、うまく交通整理できないものかなと感じました。また、学校の先生方の業務軽減については国を挙げての取り組みが行われていますが、周南地区でも長年続いていたある取り組みをやめました。それは、小中学校の教頭先生の負担がかなり大きいと理解していたためです。ただし、地域のため、地域のつながりができるための仕組みを新たにつくりました。伝統として残すべきもの、実態となっていなければ、改めていくことが大切だと思います。

ここで休憩を取りたいと思います。

―― 10分間の休憩――

(2) 公民館の開館時間、休館日について

委員長

続きまして、協議事項(2)「公民館の開館時間、休館日について」に入ります。生涯学習文化課から説明をお願いします。

生涯学習文化課 野村課長・小林副主幹

―資料に基づき説明―

委員長

何かご質問のある方はいますか。

(質問無し)

質問がなければ、各委員から順にご意見ををお願いします。閉館時間を早めること、休館日を週1回程度設けること、夜間の利用が無い場合は閉館とすることの3点について、ご意見をいただきたいと思います。

今後のスケジュールの説明の中で、1月に利用者説明会を行うということでしたが、

利用者に対しての周知は、公民館ごとに利用サークルや主だった団体を対象に行うということですか。不特定多数の方に説明するものですか。

生涯学習文化課 小林副主幹

冒頭に報告がありましたが、公民館の施設予約システムが入れ替わることについての説明会を1月に各公民館で実施する予定でしたので、それに合わせてこの件も議題にのせさせていただき、説明させていただく考えです。

公開での実施も考えましたが、限られた時間の中で結果を整える必要がありながらも、利用者・市民のみなさんにきちんと理解をいただきながら進めなければいけないというなかで、可能な選択を取らせていただいたものでございます。

委員

今日の夜間利用状況利用データを拝見して、各公民館の土地柄、部屋数、活動団体数などによって、違いが生じているのではないかと思います。つまり、サークル数や活動曜日に対して、どれだけ部屋数が有るのか、無いのかという視点が必要だと思います。

また前回、休館日がなぜ必要かという質問に対して、集中して研修をしたりすることを想定しているという回答でした。効率的な事務のために休館日は必要だと思います。しかし、それを何曜日にするかについては、煩雑になるかもしれませんが、公民館によって変えることはできないのかと考えました。候補になっている月曜日・火曜日についても、その公民館の利用団体の数、部屋の数異なるのですから、全館同一に考えることは無理があるのではないかと思います。

閉館時間を早めること、夜間に利用が無い場合に閉館することについては賛成です。

委員

私は3点とも賛同します。賛否はあると思いますが、どこかで区切りをつけることは仕方が無いかと思います。

しかし、今後検討される使用料と関連してですが、今回は利用している方々を中心にアンケートされたと思いますが、無料で使っている方たちに有料化のアンケートをすると「なぜ？」となると思います。アンケートは公民館を使用していない人の声を拾い上げる必要があるのではないのでしょうか。学校の負担になるかもしれませんが、学校と家庭の連絡ツール「すぐーる」を活用する方法もあるのかもしれません。私は有料化には賛成なので、幅広い世代からの声を聞けることが必要だとも思います。

委員

私も、3点とも賛成します。

休館日に関しては、一律に同じ曜日で休館してしまうと困ることもあるかと思いま

す。各公民館で柔軟な対応があると良いと思います。

委員

3点について、良いと思います。

休館日については、振替休日もあることから月曜休館でも良いのではないのでしょうか。

夜間の休館については、夜間利用のサークルが部屋をとれないなどの現状があるようであれば、交通整理が必要だと思いました。

委員

3点とも良いと思いますが、休館日については、作業日確保、人員削減、光熱水費削減のためという理解であっていますか。

生涯学習文化課 小林副主幹

掃除などの作業もそうですが、公民館職員は教育職職員として研修やスキルアップに取り組まなければなりません。もちろん毎週行うわけではありませんが、ある程度一堂に会して研修などを実施するためには、一律の休館日が必要ということも視野に入れています。

委員

月曜日に全館休館となると、君津中央公民館の「こっこルーム」に月曜日に来ているママたちの行き先がなくなるのではないかと心配しています。来ている親子のことを考えても、全館一律ではなく柔軟に対応してほしいと思います。

また、休館日にあたる曜日に活動している利用者がほかの曜日に移ることのできる枠があるのかの支援をしてほしいと思います。

委員

私も、休館日を設けること、閉館時間を繰り上げることに賛成です。

先ほども発言した通り、各公民館の取組には敬意を表しますし、みなさんの奮闘ぶりに頭が下がる思いです。

しかし、今回の資料・説明は全庁的に見直しを指示されたから取り組むというものであり、何のミッションがあるのかが示されていません。何が理由で指示されたのか、何の課題があって、どうするのがわからないのです。これらの理由・説明なくして、アンケートをとって、多数決で決めることではありません。

また、休館日を月曜日とすることについては賛成ですが、学校で公民館の様々なイベントに参加し、公民館職員が休日返上で動いている姿を見えています。日曜日にイベントが多いから、館内の整備や修理のために月曜日に休ませてほしいとか、現状の公民館勤

務はこんな実態で、こんな課題があるから、休館日が必要なのだとか、そのような説明が必要だと思います。

公民館として現状の予算と人員で本当に休館日が必要なのでしょうか。必要だったら絶対に言うべきです。

休館日を公民館ごとに別々にしてほしいという意見がありました。それについても十分に理解できます。しかし、全館同じ曜日にしたら、一斉に研修ができるのだということもあるでしょう。共通の休館日が必要ならば、それも言うべきです。

「より良い公民館をつくる」という視点は無くしてはいけないし、課題は何か、そのために必要なことは何か、必要性は何かという視点を資料や説明に盛り込まないといけないと思います。

また、資料についてですが、表が見えにくいので見やすく整理したほうが良いと思います。

委員長

基本的に3つ事項については賛成します。

休館日については、市の上層部からの指示だったと推察しますが、スポーツ施設などは休館日を設けるのは常識です。それはメンテナンスの必要があるためです。施設管理の観点からすれば、週1回の休館日が必要だと訴えるべきだと思うし、それが世間では常識といわれていると思います。

休館日の曜日については、条例上「週1回」として曜日の指定をしなくても良いのではないかと感じます。職員研修のために統一の曜日で休館にする必要があるということであれば、これまで数十年にわたり、休館日を設けずに職員研修をどうやっていたんだということになります。休館日と職員研修を関係付けるのは議論としてはおかしいことになると思います。具体的な曜日を各館として定めるとしても良いのではないのでしょうか。

説明に矛盾がないようにしていただきたいし、資料を提示するのであれば、理解してもらうためのものですので、文字の大きさ・紙面の大きさなど、見づらくないようにしてほしいと思います。

生涯学習文化課 小林副主幹

ありがとうございました。

ご意見をいただくなかで、休館日を統一しなくても良いのではないかというご意見がありました。私たちもこの点については検討いたしました。その中で、休館日を各館で設定することについては、市民によってわかりにくいのではないかと、他の自治体を見てもほとんどの自治体では同一の休館日を設けているということから、今回はこのような提示とさせていただきます。今回頂戴しましたご意見については、きちんと承りたい

と思います。

また、市全体の財政状況が厳しいという中で、休館日を設けることになったという経緯がございます。当初は月1回を想定していましたが、そのような状況ではなく、週1回の方向性となりました。

私たちも前向きにこれを進めるということではなく、市民のみなさまへの影響をなるべく最小限にしながら、公民館を持続していきたいという中で、ご理解をいただきながら何かを選択しなければいけないという状況で進めていることにご理解をいただきたく思います。

今日頂戴したご意見を引き取らせていただき、進めて参りたいと思います。

生涯学習文化課 野村課長

様々なご意見ありがとうございました。参考にさせていただきながら、取り組んで参りたいと思います。

また、説明についてもしっかりとできるように資料も含めて調べて参ります。

委員長

皆さんありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

6 その他

事務局より事務連絡

- ・今後の審議会予定について

第4回 3月19日(木) 14:00～ 八重原公民館

- ・第60回君津地方社会教育推進大会について

1月25日(日) 13:30～日本製鉄株式会社東日本製鉄所君津地区本館

八重原公民館 隅田館長

以上をもちまして、令和7年度第3回君津地区公民館運営審議会を終了いたします。みなさまありがとうございました。